

# 安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

## 今月の事故



剪定作業では必ず保護帽（ヘルメット）を被ってくださいね。約束だよ！

### 1. 事故の概要（就業中）（30日以上入院）

松の剪定をしようと10尺三脚梯子の6段目まで登った時、倒れかけたのでとっさに飛び降り、コンクリートの地面で左足踵（かかと）を強打して骨折、入院した。

### 2. 事故の原因

三脚梯子の開き止めチェーンをかけていなかったため、梯子が倒れかかり不安定な状態であった。（使用機器等の点検不足および安全就業意識の欠如）

### 3. 事故後のセンターの対応及び再発防止策

#### 【センター】

- ・事務局だよりに事故内容を掲載し全員に配布した。
- ・屋外作業の就業会員には、文書にて事故報告と注意喚起を行った。
- ・安全・適正就業委員会で事故の詳細と再発防止策（作業前安全確認等の徹底、講習研修会の開催など）について報告した。

#### 【連合本部】

梯子等使用時は、設置場所の安全確認の徹底や使用設備に異常がないか再点検するようセンターへ指導した。

事故の概要について、安全・適正就業対策推進委員会で報告、及び周知する。

### 4. 全シ協から

今月（7月報告分）の「1か月以上6か月未満の入院及び後遺症傷害の事故」では、植木、樹木の剪定等の事故が8件と相変わらず最も多く発生しました。また、慌てて三脚から飛び降りた事故は3件発生しました。剪定作業において三脚を設置する場合は、作業する場所の周りの状況をよく確認し、チェーンをしっかり固定してから作業を実施してください。三脚に登り低い場所で作業をしても、バランスを崩して足から飛び降りて着地すると高齢者は、筋力の低下などにより踵などを骨折しやすくなります。できる限り、脚立等を使用する作業をなくし、地上と同様な環境での作業で行うようお願いいたします。

高齢者の踵骨折は複雑骨折になり易く、歩行時痛、坂道や凸凹道等の安全歩行が困難になり、長時間の立位が困難になることから高所での作業が不可能となります。入院期間が長期間にわたることが多く、後遺障害を残すことも多いことから、退院後に通常の生活に戻ることが困難になりますので、くれぐれも気をつけてください。

さらに、作業の前後で安全作業チェックシートを活用して剪定就業会員にヘルメット、墜落制止用器具（安全帯）の有無、三脚脚立の固定状態などにチェックを入れ事務局に提出することなどを行い、会員さんに「自分の安全は自分で守る」という意識を徹底してもらうことなど、安全、安心して就業できる環境について安全委員会などで話し合い、再発防止の徹底をお願いいたします。

# 令和5年7月（令和5年度）事故速報

## (1) 重篤事故

7月の重篤事故はありませんでした。

7月までの累計で比較してみると、令和4年度の4件と比して令和5年度は8件と4件の増加となっています。

また、就業中・就業途上別にみると、就業中では令和4年度の4件と比較して同数となっており、就業途上については、令和4年度の4件と比較して4件の増加となっています。

### 7月報告分までの累計

令和5年度累計	就業中・就業途上	件数	内 訳				令和4年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業中	4(0)	1(0)	3(0)	4(0)	0(0)	就業中	4	4	0	2	2	
就業途上	4(0)	3(0)	1(0)	2(0)	2(0)	就業途上	0	0	0	0	0	
計	8(0)	4(0)	4(0)	6(0)	2(0)	計	4	4	0	2	2	

( )は、当月分報告分

## ② 熱中症の予防と対策 ②

いつでもどこでも条件次第で熱中症にかかる危険性があります。熱中症は正しい予防法を知り、普段から気をつけることで防ぐことができます。

### 対策1 暑さに負けない体を作ろう

- ①「水分を」こまめにとろう・・・のどが渇いていなくてもこまめに水分をとろう
- ②「塩分を」ほどよく取ろう・・・大量の汗をかくときは特に塩分補給をしましょう
- ③「睡眠環境を」快適に保とう・・・エアコンや扇風機を適度に使いぐっすり眠りましょう
- ④「丈夫な体を」つくろう・・・バランスのよい食事、睡眠をとり体調管理をしましょう

### 対策2 日々の生活の中で、暑さに対する工夫をしよう

- ①「気温と湿度を」いつも気にしよう・・・気温や湿度が高くなるのを防ぎましょう
- ②「室内を」涼しくしよう・・・この暑さなら大丈夫とガマンしないでエアコンや扇風機を適度に下げましょう。
- ③「衣類を」工夫しよう・・・通気性のよい生地を選択、下着には吸水性や速乾性にすぐれた素材を選びましょう
- ④「日ざしを」さけよう・・・帽子や日傘で直射日光をよけましょう。
- ⑤「冷却グッズを」身につけよう・・・首元など太い血管が体の表面近くを通過しているところを冷やしましょう

### 対策3 特に注意が必要な時や場所で、暑さから身体を守る行動を

- ①「飲み物を」持ち歩こう・・・すぐに水分を補給できるようにしましょう
- ②「休憩を」こまめにとろう・・・暑さや日ざしにさらされる環境で活動するときなどは、休憩をとり、無理は絶対にしないようにしましょう
- ③「熱中症指数を」気にしよう・・・熱中症の危険度を気にしましょう

## (2) 1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

7月は、就業中の事故19件、就業途上の事故6件と、合計25件であり、昨年度同月19件と比して6件の増加となっています。また、男女別では、男性は18件で4件の増加、女性は7件で2件の増加となっています。

7月までの累計で比較してみると、昨年度の74件と比して、本年度は92件と18件の増加となっています。就業中・就業途上別にみると、就業中は68件で9件の増加となっており、就業途上は24件で9件の増加となっています。男女別では、男性は13件の増加となっており、女性は5件の増加となっています。

### 令和5年度7月分

	仕事の内容	事故数(件)		男性(件)		女性(件)		平均年齢(歳)		
		7月	累計	7月	累計	7月	累計	7月	累計	
就業中	植木・樹木の剪定等	8(6)	28(25)	8(6)	28(25)	0(0)	0(0)	75	75	
	除草作業	5(1)	14(3)	4(1)	12(2)	1(0)	2(1)	78	78	
	屋内・屋外清掃作業	3(3)	12(12)	1(1)	4(3)	2(2)	8(9)	72	76	
	その他	3(6)	14(19)	2(5)	10(14)	1(1)	4(5)	78	74	
	計	19(16)	68(59)	15(13)	54(44)	4(3)	14(15)	76	75	
就業途上	交通手段	徒歩	2(2)	10(5)	1(0)	5(2)	1(2)	5(3)	80	78
		自転車	4(1)	9(7)	2(1)	4(4)	2(0)	5(3)	81	78
		バイク	0(0)	4(3)	0(0)	1(2)	0(0)	3(1)	—	80
		自動車	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	—	79
		計	6(3)	24(15)	3(1)	11(8)	3(2)	13(7)	81	78
合計		25(19)	92(74)	18(14)	65(52)	7(5)	27(22)	77	76	

( )は令和4年度同月の発生件数

「シルバー人材センター団体傷害保険に係る事故件数等報告書」については、事故の有無にかかわらず毎月8日までに必ず提出願います(平成30年4月24日付 事務局長通達により通知済)。(※安全就業の手引(第六改訂)P109～P129掲載)

※ シルバー団体傷害保険の支払いが確定した事故については、速やかに「シルバー団体傷害保険に係る事故件数等報告書」により報告し、報告漏れがないようお願いします。

草刈機での飛び石事故が多発しています。人に当たってしまったら大変ですよ。**必ず飛散防止ネットを設置して作業してくださいね。**全シ協 会員専用ページ リニューアルサイト 動画一覧もご覧くださいね。

(DVDの貸出しも行っています。)



### (3) シルバー派遣事業における労働災害報告の事故（休業1ヶ月以上）

4月は仕事の型別では、「その他の運搬・清掃・包装等の職業」6件「社会福祉の専門的職業」「施設・ビル等の管理の職業」、「その他のサービスの職業」「農業の職業」「金属材料製造・金属加工・金属溶接・溶断の職業」が1件であり、合計11件でした。前年同月の10件と比べ1件の増加となっています。また、男女別では、男性は5件の増加となっており、女性は4件の減少となっています。

なお、4月に死亡事故はありませんでした。

#### 令和5年度（4月分）

仕事の型（中分類）	中分類 コード	事故数（件）		男性（件）		女性（件）		平均年齢（歳）	
		4月	累計	4月	累計	4月	累計	4月	累計
社会福祉の専門的職業	16	1 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (1)	67	67
家庭生活支援サービスの職業	35	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	-	-
施設・ビル等の管理の職業	41	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	68	68
その他のサービスの職業	42	1 (2)	1 (2)	1 (0)	1 (0)	0 (2)	0 (2)	74	74
農業の職業	46	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	73	73
金属材料製造、金属加工、金属溶接・溶断の職業	52	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	79	79
運搬の職業	75	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	-	-
その他の運搬・清掃・包装等の職業	78	6 (5)	6 (5)	3 (3)	3 (3)	3 (2)	3 (2)	68	68
計	-	11 (10)	11 (10)	8 (3)	8 (3)	3 (7)	3 (7)	73	73

( ) は令和4年度同月の発生件数

令和2年4月以降に発生した「派遣労働会員の業務災害(休業日数4日以上又は死亡)」、「派遣労働会員の通勤災害(休業日数4日以上又は死亡)」については、「全シ協会員専用ページ」の「シルバー派遣事業における労働災害報告」により、各月翌月最終稼働日までにご入力ください。また、労働災害(業務・通勤ともに)が発生しなかった場合も「労働災害未発生報告」を選択のうえ、各項目をご入力ください。

(令和2年4月22日付 2全シ協発第12号により通知済)



安全就業スローガン  
「安全は 無理せず 焦らず 油断せず」  
(令和5年度から令和7年度)

# ★ 安 全 リ シ ー ★

## 大分県内における安全就業の取り組みについて

### 1. 連合会事業の概況(令和5年3月31日現在)

◇センター数	14 団体(国庫補助団体14センター)		
◇会員数	5,405 人 【男性】3,782 人 【女性】1,623 人 うち 【派遣会員】1,648 人		
◇粗入会率	1.2 %		
◇受注件数	36,128 件	【請負・委任】35,466 件	【派遣】662 件
◇契約金額	2,660,837 千円	【請負・委任】2,117,482 千円	【派遣】543,355 千円
◇就業延人員	479,218 人日	【請負・委任】373,191 人日	【派遣】106,027 人日
◇就業率	82.8%(総合)	【請負・委任】70.7%	【派遣】60.5%

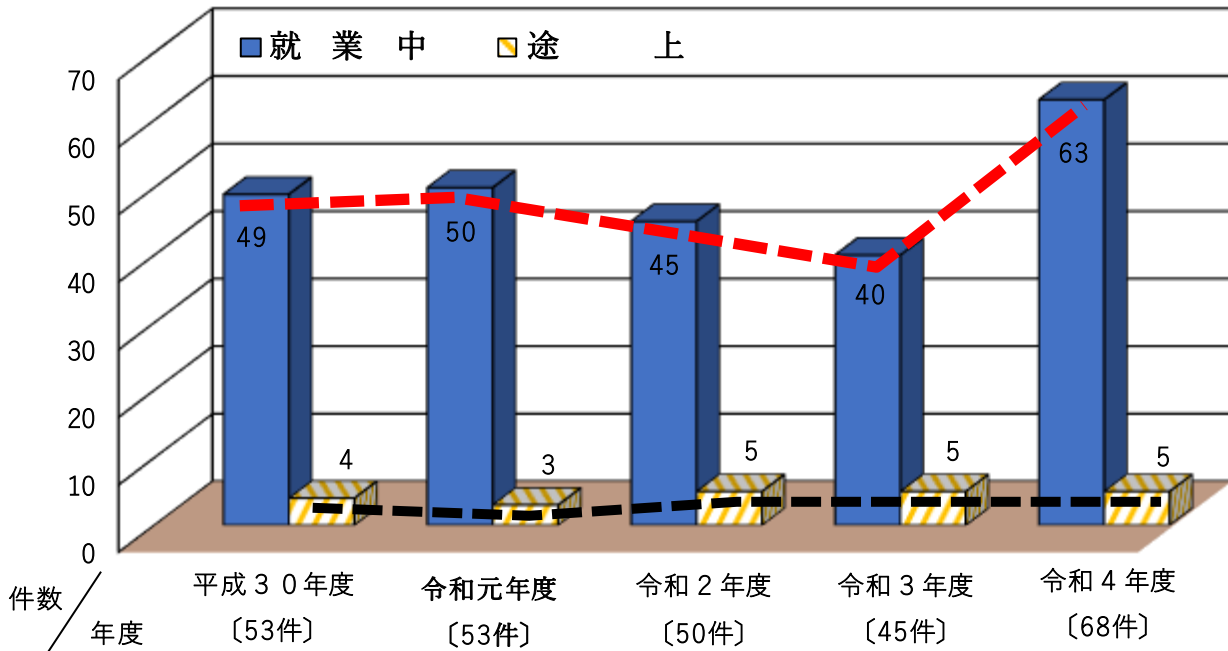
### 2. 傷害事故の発生状況

傷害事故の発生状況〔平成30年度～令和4年度推移〕

(シルバー保険適用)

種 別		年 度	平 成	令 和	令 和	令 和	令 和
			30 年度	元年度	2 年度	3 年度	4 年度
実事故件数	就 業 中		49	50	45	40	63
	途 上		4	3	5	5	5
	計 (件)		53	53	50	45	68
数 値 は ダ ブ ル カ ウ ン ト 含 む	重篤事故	就 業 中	0	0	0	1	1
		途 上	0	0	0	0	0
		計 (件)	0	0	0	1	1
	後遺障害	就 業 中	2	1	0	1	3
		途 上	1	0	0	0	1
		計 (件)	3	1	0	1	4
	入 院	就 業 中	16	15	6	11	19
		途 上	3	0	4	3	2
		計 (件)	19	15	10	14	21
通 院	就 業 中	50	45	44	39	56	
	途 上	3	3	5	5	3	
	計 (件)	53	48	49	44	59	

## 就 業 中 ・ 途 上 別 事 故 発 生 件 数



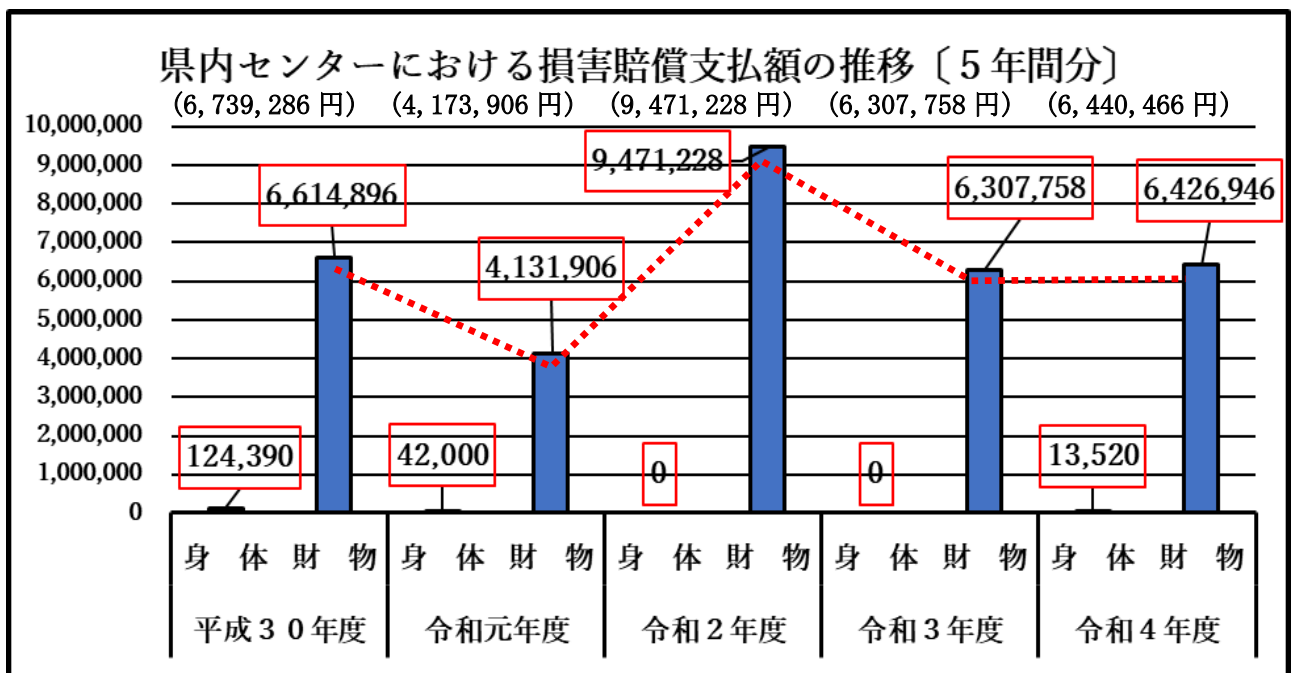
県内センターの傷害事故発生件数は例年50件前後で推移していたが、令和元年度以降減少が続き改善の兆しも見られたものの、令和4年度は前年比1.5倍に急増した。

令和3年度末に重篤事故が続き、理事会を始め事務局長会議等において安全就業の徹底について、機会あるごとにお願ひしたにも関わらず、増加に転じたことは誠に遺憾であり、再度安全就業の徹底と確保について強力に指導を行いたい。

なお、近年の傷害事故の特徴としては、会員の高年齢化と密接な関係を有する「転倒」による事故が、令和4年度は21件と全体の31%を占め、年々増加傾向にある。

### 3. 損害賠償事故の発生状況

損害賠償事故の発生状況〔平成30年度～令和4年度推移〕



県内センターにおける損害賠償額は、令和2年度の947万円を最高に600万円前後で推移し、高止まりしている。

主な事故原因としては、ここ5年間の平均値で「飛散させた物で損壊」が全体の74.6%を占め、その内「除草作業に係る飛び石事故」が全体の92.6%を占めており、随時注意喚起文書を発出し、防護ネットの活用を始め駐車場では車の移動等を積極的に働き掛け、損害賠償事故の未然防止対策を重点課題として、積極的に取り組むよう指導を行った。

#### 4 安全・適正就業推進委員会の開催〔令和4年9月29日(木)〕

例年、事務局長会議と抱き合わせで開催していたが、令和3年度末に重篤事故が続いたため事務局長並びに安全就業担当者を集めた単独開催とした。なお、各センターの事務局長には、安全就業で抱える課題と今後の安全対策について順次発表を頂いた。

また、連合会が開催する安全衛生研修会を始め、各種注意喚起文書に対する会員への周知・伝達方法の協議、安全就業標語の最優秀作品の選考作業を行った。



#### 5 安全就業推進作業部会の開催〔令和5年2月17日(金)〕

連合会理事会に設置する「安全就業推進専門部会」の下部組織として、県下センターの「受注禁止業務の指標(案)」のたたき台を作成目的とした「安全就業推進作業部会」を令和4年6月に設置した。部会員には、各センターから推薦のあった各種業務に造詣の深い、実務を担当されている職員にご就任いただき、センターで受注する業務について、就業会員の高年齢化等を見据えた相応しくない業務の洗い出しと、取り扱う機器の危険性等についての峻別作業を、各部会員に割り振り細部調査を開始した。



## 6 安全衛生研修会の開催

前年度末、県内センターにおいてチェーンソーによる重篤事故が発生したため、連合会主催の「伐木作業に係る基礎研修会」〔令和4年6月28日(火)〕を緊急開催した。

内容は、関係法規を始め伐倒・造材の方法や切創防止保護衣の着用目的等についての講義と、チェーンソーの基本及び応用操作並びに受け口等の作成方法の実技講習を行った。

なお、この研修会については、各センターに於ける安全作業が徹底・確認されるまで継続開催したいと考えており、令和5年度も秋頃に開催予定である。



救急研修会〔4月25日(火)〕においても、これまでの熱中症予防対策〔講義〕・心肺蘇生法及びAEDの使い方〔実技〕以外に、新たに止血帯の取り付け方〔実技〕を加えて研修内容の充実・強化を図った。※この救急研修会も毎年開催している研修である。



## 7 安全パトロールの実施状況〔実施期間6月～11月 県内5センターを実施〕

県下14センターを3年計画で一巡するように計画しており、令和4年度は第1班の5センターについて安全パトロールを実施した。

なお、各センターには安全パトロールの実施結果を写真入りで通知し、推奨事項については継続いただき、指摘事項については改善策を項目ごとに連合会へ報告させ、早期改善を図った。※作業時の遵守事項及び各種資器材の準備状況等について確認した。







救急バック



防護ネット



呼子笛

電子ホイッスル

## 8 「注意喚起文書」の発出状況

県内センターにおいて、他センターでも注意すべき事象(事故を含む)が発生した場合は、その都度全センターの職員並びに会員に対して、注意喚起文書を発出した。

なお、令和4年度は計6回の注意喚起文書を発出した。

- ① 令和4年 4月15日(金) ○新型コロナウイルス感染者の発生について
- ② 令和4年 4月27日(水) ○チェーンソー使用時の事故防止と作業中の熱中症予防について(類似事故が発生し緊急発出)
- ③ 令和4年 7月 4日(月) ○刈払い作業時の安全保有距離の確保と接近時の声掛け等の徹底について(類似事故が発生し緊急発出)
- ④ 令和4年 7月11日(月) ○損害賠償事故に占める「飛び石事故」への対応について
- ⑤ 令和4年11月24日(木) ○県内の新型コロナウイルス新規感染者の急増に伴う注意喚起について
- ⑥ 令和5年 1月13日(金) ○派遣会員の労災事故防止について

## 9 安全意識の高揚並びに啓発を図るための「安全就業教育用DVD」の貸出制度

この制度は、令和2年度に運用開始したもので、センターが開催する各種安全講習会や研修会を支援するため、連合会が保有する各種DVDを貸し出す制度である。

- ① ○○地域SC 令和4年4月・令和5年2月 計2回 ○職群班の安全講習会
- ② ○○市SC 令和4年4月 計1回 ○職群班の安全講習会
- ③ ○○市SC 令和5年3月 計1回 ○安全委員会・講習会
- ④ ○○町SC 令和5年2月～3月 計2回 ○安全就業講習会

## 10 安全就業推進専門部会の開催(新型コロナウイルスの感染拡大により中止した。)

令和4年度の開催については、新型コロナウイルス感染者が県内で急増したため、出席者の安全を考慮し、止む無く中止した。

なお、既に理事会承認を得ていた「安全就業に係る各種規程の整備」については、令和4年度の前期をもって県下センターの各種「安全就業規程」が整備完了となった。

★★★大分県シルバー人材センター連合会からの報告でした。  
詳細にわたるご報告、誠にありがとうございました。★★★

# お口の健康 あなたは大丈夫？

歯が痛かったり、口の中に気になることがあると、食べ物を自然に噛んだり、味わって食べられなくなったりして、日常生活や仕事に少なからず影響ができることは誰しも経験があるでしょう。さらに、歯周病があったり、咀嚼が十分になくなったり、口の機能が低下すると、全身のさまざまな病気を招くことがわかっています。日ごろのお口のケアを見直し、口の中の健康を守る習慣を身につけましょう。

## あなたの歯、いま何本？

永久歯は28本（親知らずを除く）ありますが、今、自分は何本あるか知っていますか？

「8020（はちまるにいまる）運動」として提唱されているように、80歳になっても20本以上の歯を持っていると、しっかり噛んで食べられるといわれています。自分の歯に関心を持ち、大切に維持していきましょう。

## こんな習慣は要注意！

ストレス解消のために甘いお菓子などを「ちょくちょく」食べたり、炭酸飲料、果汁、乳酸飲料、スポーツドリンク、砂糖入りコーヒーなどを「ちょこちょこ」飲んだりすることは、歯に影響を与えやすいので、注意が必要です。

すぐに歯磨きができないときは、口をゆすぐだけでもよいのでしておきましょう。

## 日ごろのケア＋プロのケアを

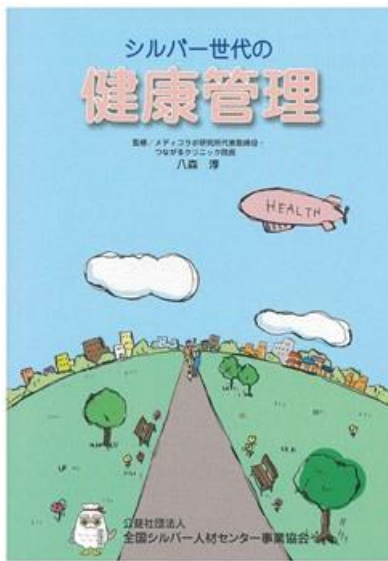
口の中の健康を維持するためには、毎日のケアを怠らないことが大切です。プラーク（細菌の塊）が歯につかないように、自分に合う歯ブラシや歯磨き粉、歯間清掃機具などを使ってその日の汚れは、その日のうちに落としておくようにしましょう。

歯ブラシなどだけでは取れない汚れもあります。半年から1年に1回は、かかりつけの歯科で専門家のケアも受けましょう。



## シルバー世代の健康管理

表紙



一部内容



わが国は世界でも屈指の長寿国となり、元気なシルバー世代が増えています。その健康を維持するために、食事、運動、喫煙、飲酒など生活習慣をみずから管理することが重要な課題となっています。本書をシルバー世代の健康づくりのヒントにして、元気な毎日を過ごしていただければ幸いです。

巻末より

A5判 40 ページ 2009(平成 21)年 2 月発行 以降、増刷対応  
(10 部以上からの販売)  
 価格 293 円(税込)、送料実費



## 会員必携安全就業ハンドブック

全国版表紙



一部内容



安全就業の心得をはじめ、仕事別の安全対策などを分かりやすく解説したポケット版の会員必携ハンドブック



変形 B7 判(縦 12.5cm×横 7.6cm) 44 ページ 2014(平成 26)年 6 月発行 以降、増刷対応

○全国版 (10 部以上からの販売)

価格 143 円(税込)、送料実費

○名入れ版 (200 部以上から 50 部単位での販売、名入れ印刷に 1 ヶ月程度のお時間をいただきます)

価格 165 円(税込)、送料実費

※注：在庫切れの場合、全国版・名入れ版共通で、カバー手配により納品に 2～3 ヶ月程度のお時間をいただきます。

# 安全就業のためのチェックポイント



会員が安全に就業するための要点を、全カラー版でまとめたイラスト小冊子

A4判 32 ページ 2017(平成 29)年 3 月発行 以降、増刷対応

**(10 部以上からの販売)**

価格 220 円(税込)、送料実費

## 編集後記

梅雨が明け、コロナが5類になって初めての夏休み、そしてお盆。遠方にお住まいのご子息やお孫さんとの久々の再会を楽しみにされていた方も多かったことと思います。しかし、ノロノロ動いた上に沖縄地方へ逆戻りした台風6号、お盆休みに関西方面を直撃した台風7号。8月前半は台風には振り回され、計画通りにいかなかった方もいらしたのではないのでしょうか。今回の台風で災害に遭われたみなさまに心からお見舞い申し上げます。自然災害と違い、シルバーの事故は「自分の身は自分で守る」と意識すれば、防げるものがほとんどです。「自分だけは大丈夫」っていうことは絶対にありません。事故の報告を見ても、〇〇さえしていれば…と思うことばかり。8月も下旬となり、暦の上ではすでに秋を迎えています。まだまだ暑い日が続くことと思います。会員のみなさん、熱中症対策は今しばらく万全にお願いします。また来月初めには、今年度安全就業優秀・優良シルバー人材センター・連合として表彰を受けられた各センター等の取り組み状況など1冊にまとめ、臨時増刊号として発行します。どちらのセンター等もそれぞれ安全就業のため色々な工夫されていますので、ぜひご参考にされ、事故ゼロを目指して取り組んでいただければ幸いです。(松山)

すやすや気持ちよく寝ていたら、「うるさい!」「静かにして!」という声が聞こえ、夢か現実か、誰が言っているのか判らず、ぼんやり目を開けると、妻が鬼のような顔をしてこちらを見ている。ここ数年、私のいびきがひどいようなのです。自分ではいびきをかいている自覚はないので喧嘩になってしまいました。自覚はなくても指摘されたことが気になり、いびきについて調べてみました。いびきは空気の通り道である気道が狭くなり、息を吸ったり吐いたりするときに音が生じるのだそうです。私はここ数十年で、毎年1キロずつ増加し10キロ体重が増えてしまったので、それが原因かもしれません。太ると内臓脂肪以外に首の周りにも脂肪が増え、さらに舌も大きくなり、舌根部が喉の奥を塞ぎやすくなります。睡眠時無呼吸症候群ではないか?とも思うのですが、その主な症状としては眠っているときのいびき、無呼吸発作、日中の眠気があり、眠っている時に呼吸が苦しいと感じる人もいます。今のところ私は「自覚のないいびき」のみなので該当しないように思います。自分としてはいわれのない、妻の非難に対処するために、成人病予防も兼ねて生活習慣を見直してみることにしました。ちょうど痩せたいと思っていたこともあり、今年の3月から間食をやめました。しかし毎日のように妻が買ってくるお菓子、アイスクリーム、たい焼きをやめるのは辛く、自分ルールを変更し1週間に1回だけ好きなお菓子を食べることにしています。その日が楽しみで仕方ありません。間食をやめたことにより食事がおいしく食べられるようになり、5カ月経過し、数キロ痩せましたが、まだいびきがうるさいのは変わらないようです。次の段階は、揚げ物を控えようかと考えています。大好きな唐揚げ、てんぷらを食べない生活は無理かもしれませんが、できる範囲で控えていこうと思います。いびきで悩んでいる方々は是非、食事、運動の習慣を見直して、健康で楽しく、長くシルバー人材センターの会員として活動してください。(高木)